



発行日 平成27年5月 第87号

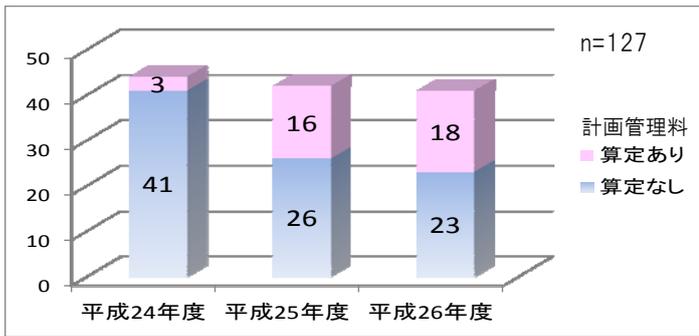
日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
 脳卒中地域医療連携パスは、脳卒中患者さんへ、安心して質の高い医療と手厚い福祉・介護を提供するため、患者・医療・福祉関係者間の情報共有のツールとして活用されています。
 今月は、平成24年度から26年度の運用状況についてご報告いたします。
 地域医療連携室 大沢 知佳

脳卒中地域医療連携パスの運用状況について

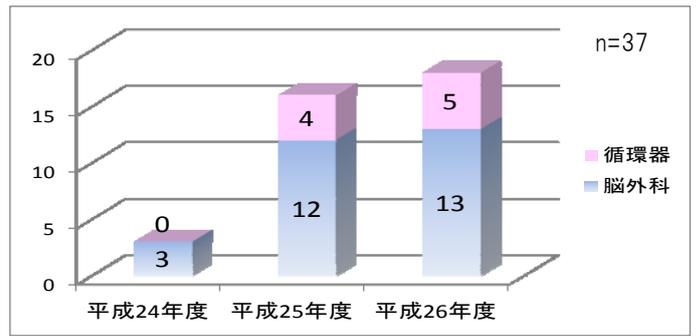
脳卒中地域医療連携パスの運用件数は、平成24～26年において約40件であり、大きな変化はありませんでした。しかし、「地域連携診療計画管理料」の算定件数は、増加傾向を示しています。

平成26年度は、対象患者さんの約7割が70歳未満であり、転院によりバーセルインデックスの得点が上昇し、社会復帰を果たしました。

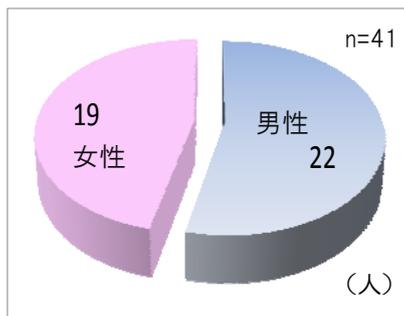
今後も脳卒中患者さんが、連携パスにより、適切な時期に適切な場所でリハビリテーションを行い、早期に社会復帰できるよう、円滑な運用に努めていきたいと思っております。



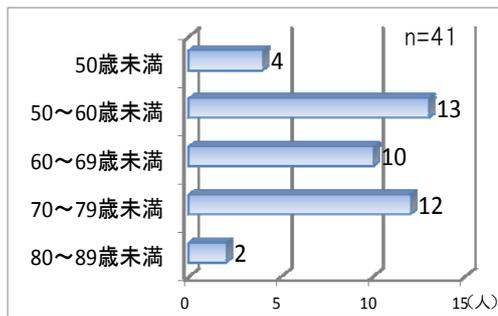
1. 年度別運用件数の推移



2. 診療科別件数（計画管理料算定あり）



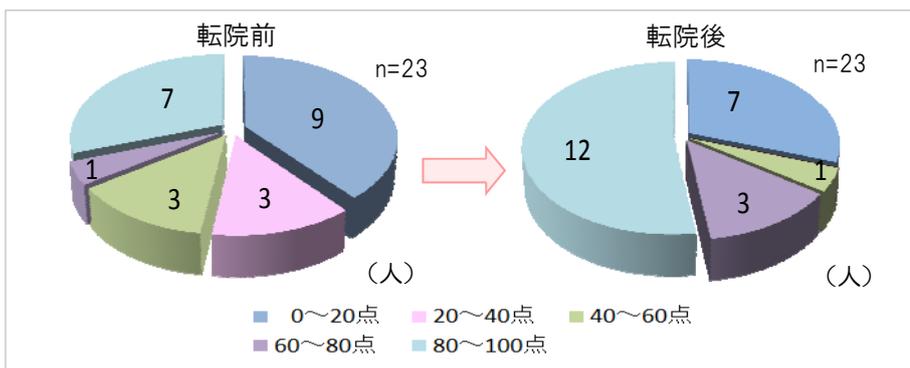
3. パス利用者の性別（H26）



4. パス利用者の年齢（H26）

<計画管理料算定要件>

- ・ 平均在院日数 17日以内
- ・ 入院1週間以内のパスの説明および患者もしくは家族の同意
- ・ 計画に係る情報交換のための会合の開催（年3回以上）



5. パス利用者の機能回復の状況（バーセルインデックスの変化）
 ※ 平成26年4月1日～平成27年3月31日にリハセンを退院した23名

連携病院

秋田道沿線地域医療連携協議会

<急性期>

- ・ 市立秋田総合病院
- ・ 大曲厚生医療センター
- ・ 雄勝中央病院

<回復期>

- ・ 県立リハビリテーション・精神医療センター
- ・ 羽後町立羽後病院
- ・ 西和賀町立さわうち病院